

# R7 (2025) 年 共通テスト追試 『淮南子』 現代語訳

※一部、振り仮名や返り点も補足しています。

だんかんぼく じしな ろくろ をル いへ二

段干木 辞レ禄 而処レ家。

(戦国時代の魏の人である) 段干木は(俸禄をもらつて) 官職を退いて、自宅に居る。

ぎんぶんこう すぎて そりよろ しょくす これ二

魏文侯 過二其閭一 而軾レ之。

魏の文侯はその村里の出入り口にある門に立寄り、これ(「段干木のいる村里」)に車上から敬礼した。

そんぼくいハク きみ なんすレゾしよくスルト

其僕曰、「君ア何為軾。」。

文侯の御者が言う、「あなた様はなぜ(車上から) 敬礼なさったのですか」。

いハク あり これもつて しょくすと

文侯曰、「段干木在、是以軾。」。

文侯が言う、「段干木が住んでいる、これが理由で(車上から) 敬礼したのだ」。

いハク ハ ふいのしナリ

其僕曰、「段干木 布衣之士。」。

御者が言う、「段干木は、官位のない(民間の) 人物です。」

きみ スルハ そりよ二 ず はなはダシカラ やト

君軾二其閭一、不二己甚 一乎。」。

あなた様はその村里の門で(車上から) 敬礼をなさるのは、なんと度が過ぎるのではありませんか」。

いハク ハ ず はつら せいり二

文侯曰、「段干木 不レ趨二勢利一、

文侯が言う、「段干木は、権勢や利益を求めて行動せず、

いだキテ くんしのみちヲ いん しょシ きうかう二

懐二君子之道一、隠二処一 窮巷、

心に君子の道を抱き、わびしい路地裏に隠れ住んでいるが、

せい シク せんり二 くわじん あへテなカラシ しょくスルトコトヤ

声施二千里一。寡人敢勿レ軾 乎。

名声は千里先まで広まっている。わたくしはどうしても車上から敬礼しないではいられない。

ハ かがやキ とく二 ハ ク せい二

段干木 光 二於徳一、寡人 光 二於勢一。

段干木は 徳に輝き、 わたくしは権勢に輝いている。

ハ ヌミ せ二 ハ ム けふ二

段干木 富 二於義一、寡人 富 二於財一。

段干木は 義に富み、 わたくしは財貨に富んでいる。

B 勢不<sub>レ</sub>若<sub>二</sub>徳尊<sub>一</sub>、

せいはず しカ X たつとキニ  
(わたくしの持つ) 権勢(の価値) は(段干木の持つ) 徳の尊さに及ばず、

財不<sub>レ</sub>若<sub>二</sub>義高<sub>一</sub>。

ハ ず しカ Y たかキニ  
(わたくしの持つ) 財貨(の価値) は(段干木の持つ) 義の高さに及ばない。

干木雖<sub>三</sub>以<sub>レ</sub>己易<sub>二</sub>寡人<sub>一</sub>不<sub>レ</sub>為<sub>レ</sub>。

段干木は、自分の立場を(主君である) わたくしの立場と代えることができたとしても、やらないだろう。

吾日悠悠 慙<sub>二</sub>于影<sub>一</sub>。

われハ ひびひゆうゆうトシテ ハヅ カゲニ  
わたくしはいつも憂えており、自身の影に向き合つて恥じ入る。

子何以軽<sub>レ</sub>之哉。「

おまえは、なぜ(高潔な) 彼(=段干木) を軽んずるのだ」。

その後、 秦が 兵を起<sub>レ</sub>して魏を伐<sub>レ</sub>つたとき、  
其<sub>レ</sub>後 秦将<sub>二</sub>起<sub>レ</sub>兵伐<sub>レ</sub>魏<sub>一</sub>。

司馬庾諫<sub>レ</sub>曰、  
しばゆ いさメテ いハク  
司馬庾は 諫めて言った、

「C 段干木 賢者、其君礼<sub>レ</sub>之、  
ハ けんじやニシテ ノキミ れいスルコト ヲ  
「段干木は賢者であり、その主君が彼に敬意を払っていることは、

天下莫<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>知、諸侯莫<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>聞。  
なク ざルハ シラ ショウコウ ナシ ざルハ キカ  
天下に 知らない者はおらず、諸侯も その噂を聞いていない者はいません。

D 拳<sub>レ</sub>兵伐<sub>レ</sub>之、  
あゲテ へいヲ ヲタバ ヲ  
兵を拳<sub>レ</sub>げて魏を討伐するならば、

無<sub>三</sub>乃妨<sub>二</sub>於義<sub>一</sub>乎。  
なカラン すなはチ サまたグルコト ヲ ヤト  
どうして(我が国は) 道義に反することにならないでしようか。いや、なるでしよう。

イ 於<sub>レ</sub>是 秦乃偃<sub>レ</sub>兵、輟<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>攻<sub>レ</sub>魏。  
おいテ コトニ シン チ フセ ヲ ヤメテ ず セメ ヲ  
これによつて、 秦はなんと 兵を収め、 魏を攻めることを中止したのである。